

お知らせ

1. 件名 大井川水系における渇水対策支部の解散について

2. 概要

(1) 状況

- 大井川水系では昨年11月から少雨傾向が続き、水源である長島ダムや中部電力の畑薙第一ダム及び井川ダムの貯水量が減少してきたことから、平成19年11月23日から大井川水系渇水対策支部（監視体制）を設置し、対応に努めてきました。
その後もまとまった降雨がないことから、平成20年2月23日に支部体制を監視体制から警戒体制へ移行し、利水者に対しても同日より自主節水（上水5%、工水10%、農水10%）を開始し、3月10日には一次節水（上水10%、工水20%、農水20%）まで節水率を引き上げました。
その後4月上旬のまとまった降雨により、ダムの貯水量は回復の兆しを見せ、4月11日から自主節水（上水5%、工水10%、農水10%）へと節水対策は緩和しています。
- 現在までの代表雨量観測地点における降雨量は次のとおりです。

月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
降雨量	10mm	108mm	43mm	39mm	161mm	133mm
平年値	210mm	72mm	123mm	107mm	215mm	241mm

上川根雨量観測所（川根町藤川）

月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
降雨量	21mm	80mm	59mm	85mm	179mm	160mm
平年値	240mm	142mm	105mm	113mm	238mm	211mm

井川雨量観測所（静岡市葵区井川）

- 大井川の河川流量の代表観測地点である神座地点における4月15日9時現在の河川流量は毎秒16.43立法メートルで3月後半から流況が改善しています。なお、この時期（3月～6月）に流水の正常な機能を維持するために必要な河川流量である毎秒10.3立法メートルを上回る日が維持されています。
- 長島ダムの貯留状況も4月上旬からのまとまった雨により回復の兆しを見せており、4月15日現在、ダム貯水量14,633千 m^3 、貯水率29.3%と平年の40%まで回復しています。井川ダム及び畑薙第一ダムは貯水量157,700千 m^3 、貯水率4.1%と平年並まで回復してきています。

(2) 対応

- 現在の流況回復を鑑み、4月15日13時をもって自主節水を解除します。
- 大井川水系渇水対策支部は4月15日13時をもって解散します。
- なおこの渇水による特段の河川生態系への影響は見られませんでした。今後の水需要が増加する時期を控えており、引き続き河川流況の監視を行っていきます。

3. 同時配布 静岡県政記者クラブ 島田記者クラブ

4. 解 禁 指定なし

5. 問合せ先 国土交通省中部地方整備局

静岡河川事務所

副 所 長 古谷 健蔵

管 理 課 長 茶山 満

占用調整課長 小塩 毅

電 話 : (054) 273 - 9106

F a x : (054) 273 - 2228

長島ダム管理所

管理所長 菊井 幹男

管理係長 杉澤 文仁

(0547) 59 - 1021

(0547) 59 - 1026

同様の内容は下記ホームページ「新着情報」で御覧頂けます。

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/>